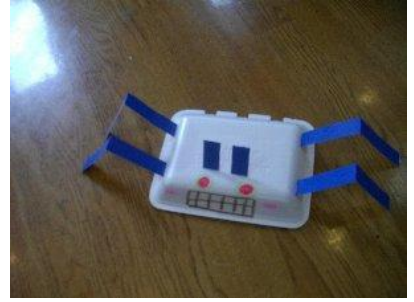


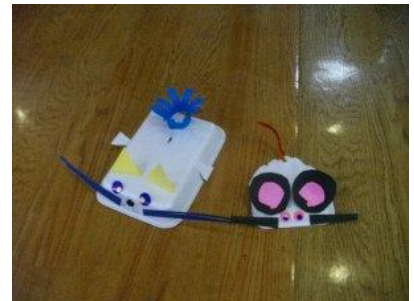
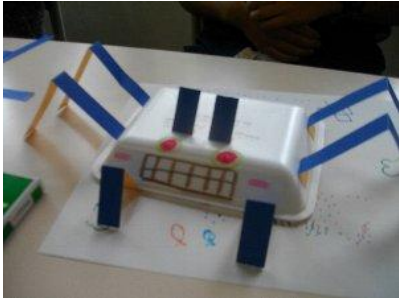
低・中学年の「動くおもちゃ」
北川智久

ためして、みつけて、考えて。
低学年の子どもたちは、動くおもちゃづくりをしながらどんどん気づいて、どんどん発想をふくらませます。
教師は、「動く」ための確実なポイントの指導をして、あとはなるべく子どもたちにゆだねるようにしたいものです。

スチレン皿とうちわで







つづいて、にんじゃロープ





ペットボトルに穴をあけて息を吹き込むと…





本日を振り返って、あるいは、
ふだんの悩みを語って…。ざ
っくばらん検討会では、全員
が発言しました。

